

10月の学校の山 イベントのご案内

小学生から大人までの学び場。
今月のイベントは小中高生が
対象です。(無料)

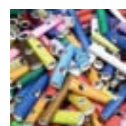
2011年9月のイベントをご案内致します。いずれも無料のイベントです。

■参加ご希望の方は、FAX・電話・Emailにてお申し込みをお願い致します。

■中学・高校生には「自習会」も開いています。詳細はお尋ね下さい。

学校法人 北白川学園 山の学校/北白川幼稚園
TEL: 075-781-3215
FAX: 075-781-6073
E-mail: taro@kitashirakawa.jp

● ひねもす道場

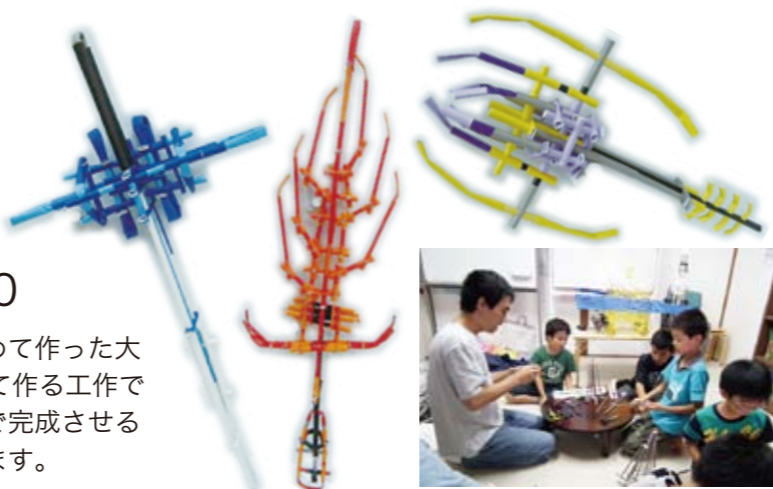


けん
「剣をつくらう」

10/3 (月) 16:00 - 18:00

対象: 小学3年生以上
場所: 山の学校教室
講師: 福西亮馬
定員: 10名先着順

※ひねもすとは、紙をまるめて作った大小2種類のパイプをつなげて作る工作です。部材そのものから自分で完成させる楽しみを味わうことができます。



● 論語の素読・勉強会

10/15 (土) 8:30 - 11:00

対象: 小学生
場所: 北白川幼稚園第三園舎
講師: 浅野直樹、山下あや

※素読では、毎回論語の一節を紹介し、参加者皆で声を出して読みます。(8:30~9:00)

勉強会では各自が課題を持ち寄り、講師が監督する中、異なる学年間で教えたり、教わったりしながら、自発的に学び合う時を過ごします。(9:00~11:00)

★学年を配慮して座席を準備致しますので、前日までに、お申し込みをお願い致します。(定員20名とさせていただきます。)



● 英語特講

10/17 (月) 18:40 - 20:00

対象: 中学・高校生
場所: 山の学校教室
講師: 山下あや

※それぞれの生徒に応じた問題を用意し、時間内でひたすら問題を解き続けてもらいます。それぞれの答案の採点をその場でしながらコメントしていきます。 ※事前にお申し込み下さい。



● 将棋道場

10/24 (月) 16:00 - 18:00

対象: 小学生(中学生も歓迎!)
場所: 山の学校教室
座主: 百木漠
定員: 先着20名



※初心者・経験者問わず、ふるってのご参加をお待ちしております。事前にお申し込み下さい。

● 何でも勉強相談会

10/24 (月) 18:30 - 21:30

対象: 中学・高校生
場所: 山の学校教室
講師: 浅野直樹、山下あや

※講師が勉強や進路の相談などを幅広く受け付けます。
※保護者との面談もいたします。
※事前にお申し込み下さい。



■ 開講可能クラス

—受講者募集中!

確率・統計の考え方

対象: 中学生以上 講師: 浅野直樹

一般にデータから価値を汲み取る時、唯一の正解というものはありません。確率・統計に騙されず、正しく考えるための思考法の訓練を共にすることができればと思います。

※お問い合わせをお待ち致しております。

● 秋学期新設クラス紹介

「漢文入門」

月曜日 17:10 ~ 18:30

担当 木村亮太

前号の「やまびこ通信」(2010-11冬)で、「開講可能クラスのご紹介」の欄のように書きました。「漢文訓読の基礎を学ぶクラスです。詩、伝記、議論など、様々な文体に挑戦しながら、訓読の方法をしっかりと

身につけていきましょう。」(中略) この紹介文でどれだけの人が興味をもって下さったかわかりませんが、書いたことが嘘になってはいけませんから、以来、なにかいい方法はないかと考えつづけてきました。頭のなかを整理して、みなさんにお話ししましょう。ある人は漢詩の世界に遊びたがっていて、ある人は『三国志』が読みたいと言い、ある人は儒家の教えに興味があるかも知れません。みなさんは、この3人の学ぶべきことは似ていると思いますか。それとも、違っていると思いますか。(※つづきは裏面をご覧ください。)

「フランス語講読」

隔週日曜日 午前 9:10~12:00

担当 武田宙也

9月4日開講予定です。テキストとしては、Daniel Arasse, Histoires de peintures, Gallimard, 2006. を用います。ふるってのご参加をお待ち申し上げます。(『入門クラス』は木曜 10:40~12:00 開講中。)

※裏面の講師からのメッセージもご覧ください。

山の学校 会員募集中。

ウェブログにて
クラスの様子を
ご覧下さい。



山の学校は、小学生から大人を対象とした新しい学びの場です。「Disce libens. (楽しく学べ)」がモットーです。中高生のための徹底した少人数指導のクラス、社会人のための語学クラスも充実。子どもは大人のように真剣に、大人は子どものように童心に戻って学びの時を過ごします。

http://www.kitashirakawa.jp/yama-no-gakko



学校法人 北白川学園 山の学校/北白川幼稚園
〒606-8273 京都市左京区北白川山ノ元町 41

山の学校

Ludus Collinus



一般向け語学クラスの一部を、以下にご紹介致します。

漢文入門

(裏面、「新設クラス紹介」のつづき)
私の答えは、似ているところも、違っているところもある、という意地悪なものです。
杜甫の詩を味わうには、新緑にすがすがしさを覚え、遠くに暮らす友人を気にかける心の豊かさが大切です。劉備や孔明たちは、見たこともない土地を駆けまわり、聞いたこともない役職に就いています。孔子はときに変わったことを言い出しますが、素直に「はい」と従ってください。口答えをすればはいけません。これが違っているところです。
似ているところは、(もうお気づきかも知れませんが、)やはりどれも漢文だということです。そして、漢詩、

歴史書、思想書、どの種類の漢文を読むのにも必要なのが、訓読という方法です。
訓読とはなにかと言えば、中国語の規則をひとつひとつ日本語の規則に置き換えて読むやり方のことです。この方法はとても良くできているので、ほとんどどのような文章にも対応することができます。訓読を身につけることは決して容易なことではありません。ですが、どんな規則でも数には限りがありますから、途中まで憶えてしまえば、あとは応用の繰り返しでどうにかなるものです。もっと難しいのは、夏の夕陽の鮮やかさに驚いたり、知らない人の名前をとことんまで調べたり、母親にとっての孝行息子でいることの方です。
漢文訓読のなかで使われることばは、当然のことながら私たちの日常の言語

ではありません。では、古代の人にとってはどうだったのでしょうか。平安時代の貴族も、江戸時代の武士も、漢文を読むのはとても得意でしたが、彼らも漢文訓読のような日本語で家族や同僚と話していたわけではありません。漢籍を読むときや、自分で漢詩を作るときなどに、訓読の知識を活かしていたに過ぎないのです。最初は苦労して勉強したはずですが、

私たちが漢文訓読を学習することは、あるいは古代の人たちの営みを再現することと言えるのかも知れません。
(文責 木村亮太)

ラテン語初級文法

<受講者の感想>
私は2009年度に山下大吾先生のラテン語初級文法を受講しました。受講しよ

うと思った最大の理由は英語の理解を深めたいということでした。また、単にラテン語のタペなどでの雰囲気憧れたという部分もあります。

大学時代の第二外国語ではあまり理解できず苦い思い出しか残っていなかったのについていけるか不安でしたが、それは杞憂に過ぎませんでした。先生が受講生の様子を見て難所をもうまく導いてくださったので、あっという間に初級文法を一通り終えることができました。そのおかげで語学全般に対する苦手意識もなくなってきたように感じます。

その後、当初の目標通りに英語への理解が深まったという手ごたえを得ております。語彙を増やすためには語源を考えるのが有効な方法であることは以前から薄々気づいていましたが、その確信を得ました。新たな複合語を作る際に子音が変化する法則などを教えていただき、これまではぼんやりと考えていたことがか

なりははっきりしました。ラテン語の文法ではやはり活用と格変化に苦労しました。ということは逆に言うと、英語の文法では活用と格変化が極めて少ないかわりに語順の制約や助動詞、慣用表現が多いということです。そのことに気づいただけでも大きな収穫です。

自分よりも年長の方と机を並べて共に学んだということそのものもよい思い出です。山を登って俗世から離れた静かな教室で、遠い昔のローマ帝国の時代の逸話などを聞く時間は、慌ただしい一週間の中で貴重な時間でした。時代は変わっても、いかに生きるかといった根本の部分には共通するところが大きいでしょう。

私などはラテン語に少し触れただけで大したことは言えません。それでもせめて雰囲気だけでも伝えられたらと思ひ筆を取りました。(A. Nさん)

フランス語

日本とフランスは、文化的な交流がさかんなことで知られています。日本では、グルメからアートまで、さまざまな分野でフランスのものが人気ですし、一方フランスでも、伝統的な日本文化はもちろんのこと、近年では日本のポップカルチャーにも注目が集まってきています。

さて、もしこうした文化的なことに興味をお持ちでしたら、フランス語を学ばれることをぜひおすすめします。言葉を知ることによって、フランス文化への理解はずっと深まりますし、またそれは、逆にフランスの人たちに日本の魅力を伝えるさいにも役立つでしょう。フランス語はなんとなく難しそう、とお感じでしょうか。ご安心ください。このクラスでは、初級文法からゆっくり、じっくり進んでいきますし、少人数制で、疑問点もすぐに質問していただけます。さあ、フランス語に親しんで、少し世界を広げてみませんか。(文責 武田宙也)

■秋学期の時間割

小学生 中学生 高校生 一般

	10:40 ~ 12:00	2:10 ~ 3:30	4:20 ~ 5:20	5:30 ~ 6:30	6:40 ~ 8:00	8:10 ~ 9:30
月			つくる 4:30 ~ 6:00			高校英語 A
火			かず1~2年 しぜんA/かいがA 3:50 ~ 5:20	ことば3~4年A かず5年A	イタリア語講読 中学ことば	ラテン語入門 中1~2英語の基本 ギリシャ語初級講読
水			ことば1~2年 かず4年A 経済学入門 ※16:00~17:30	ことば3~4年B かず4~5年B 5:30 ~ 6:45	中3英語の基本 かず6年 古文講読(高校~一般)	中学数学 歴史入門(高校) ラテン語初級講読A
木		英語一般	ことば6年		英語の基本(中・高生)	高校数学
金		フランス語入門 ラテン語初級講読B	しぜんB/かいがB 3:50 ~ 5:20	ウェブプログラミング入門 5:10 ~ 6:30 隔週	読書会(アエネイス)	ラテン語初級文法 ユークリッド幾何(~8:00) /ロボット工作(~8:30) 調査研究入門
土		ギリシャ語入門B ※2:00 ~ 5:00 隔週	ことば3~4年C ことば5~6年B	かず3年B かず3年A	ギリシャ語中級講読	ラテン語中級講読 ラテン語初級講読C
日	フランス語講読 ※9:10 ~ 12:00 隔週					

★通信講座(ギリシャ語・ラテン語)もごさいます。資料請求やご質問など、お気軽にお問い合わせ下さい。
★クラスの詳細や時間割はホームページでもご覧頂けます。
<http://www.kitashirakawa.jp/yama-no-gakko>

※一般クラスでは、受講生と講師が相互に都合を合わせて時間帯を決める場合がございます。

山の学校
TEL: 075-781-3215
FAX: 075-781-6073
E-mail: taro@kitashirakawa.jp

■秋学期のスケジュール

1クラス全12回(隔週クラスは6回) 2011年度

- ・クラスの時間
小学生: 60分授業
(「しぜん」「かいが」「つくる」90分隔週)
中学生~一般: 80分授業
- ※隔週クラス(全6回)の開講日
- ・「つくる」... 月曜日の*印
- ・「しぜんA(火曜)」火曜日の○印
- ・「しぜんB(木曜)」木曜日の○印
- ・「かいがA(火曜)」火曜日の*印
- ・「かいがB(木曜)」木曜日の*印
- ・「ウェブプログラミング入門」木曜日○印
- ・「ユークリッド」金曜日の○印
- ・「ロボット工作」金曜日の*印
- ・「調査研究入門」金曜日の○印
- ・「ギリシャ語入門B」隔週土曜日

	月	火	水	木	金	土
8月	29	(休)	31			
9月	5 * (1)	6 ○ (1)	7	8 * (1)	9 * (1)	10 ※ (1)
	12	13 * (1)	14	15 ○ (2)	16 ○ (2)	17 □ (2)
	(休)	20 ○ (2)	21	22 * (2)	(休)	24 ※ (2)
10月	26 * (2)	27 * (2)	28	29 ○ (3)	30 * (2)	
	3	4 ○ (3)	5	6 * (3)	7 ○ (3)	8 ※ (3)
	(休)	11 * (3)	12	13 ○ (4)	14 * (3)	15 □ (4)
	17 * (3)	18 ○ (4)	19	20 * (4)	21 ○ (4)	22 ※ (4)
11月	24	25 * (4)	26	27 ○ (5)	28 * (4)	29 □ (5)
	31 * (4)					
	7	8 * (5)	9	10 * (5)	11 * (5)	12 □ (6) ※ (5)
	14 * (5)	15 ○ (6)	16	17 ○ (6)	18 ○ (6)	
11月	21	22 * (6)	(休)	24 * (6)	25 * (6)	26 ※ (6)
	28 * (6)	(29休)	(30休)	(12/1休)	(12/2休)	(12/3休)